

報告第12号

令和5年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、令和5年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算を別紙のとおり報告する。

令和6年8月30日

西脇市長 片山 象三

令和5年度事業報告書及び決算報告書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

令和 5 年度事業報告書

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

令和 5 年の我が国の経済活動は、約 3 年ぶりに新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなったことで、消費者の行動が活発になり、徐々に正常化が進んできた。また、半導体不足の解消、インバウンドの回復等により株価が高値を更新するなど景気は拡大傾向にあり、賃上げや価格転嫁が加速した。しかし、個人消費については、長期化する物価高騰に実質所得が追い付かず、消費マインドは依然低迷している。さらに、急激な円安に加え、人手不足の深刻化など、我が国を取り巻く環境は厳しさが増しており、経済の見通しは不透明な状況となった。

そのような中、北播磨地域の地場産業である「播州織」については、コロナ禍で拡大した EC 市場で独自開発の最終製品や生地の提案を続けながら、本格的に復活した国内外の展示会への出展や個社での展示会開催など、販路開拓や情報発信に取り組んでおり、異業種との連携を図りながら新たな可能性を探求する動きも増えてきている。しかし、生産数量は対前年比 89.8% と約 10% 減少し、コロナ禍以前と比較すると約 50% 減少と以前の水準には程遠く、加えて原材料費や燃料価格の高騰により利益率が下がる厳しい状況となった。

「播州釣針」については、コロナ禍でも楽しむことのできる娯楽として好調が続いていたが、旅行など他の娯楽が回復してきたこともあり、今後は維持することが難しいと言われている。また、釣り人口の増加によりマナーの低下が顕著に現れ、釣り場の減少問題へと発展している。さらに、原油・原材料費の高騰のため生じた在庫不足による欠品や納期遅延等が影響し、業況はマイナスに転じている。

当財団では、地域経済の活性化には地場産業の振興が重要であると捉え、兵庫県及び地域行政の支援を受け関係業界と連携し、地場産業の振興のための効果的な事業を展開するとともに、地場製品の PR、ブランドの発信や販路拡大等の活性化事業に取り組んできた。

令和 5 年度の事業実施状況を次のとおり報告する。

〔公益目的事業〕

(公 1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業 (定款第 4 条第 1 号)

(1) 播州織ブランド新商品試作開発事業

「播州織」ブランドの発信と最新の先染織物播州織を市場に提案するため、播州織業界各団体から推薦を受けた委員で構成する

新商品試作開発委員会を組織し、「シン・播州織」をテーマに、染・織・加工の技術を駆使して変化に富んだ素材に挑戦し、多様な先染生地を試作開発した。

試作開発した生地は12点で、令和5年11月に西脇ロイヤルホテルで開催した「播州織フェア2023」で展示した。来場者向けにスワッチを作成し、QRコードを記載して各社のホームページやインスタグラムへ問合せができるようにした。

(県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施)

2 地場産業製品の普及事業（定款第4条第2号）

(1) 播州織総合素材展事業（播州織フェア）（播州織）

2025年大阪・関西万博を見据え、地場産業を伝えつなげることができる機会と捉えて、昨年まで東京で開催していた「播州織総合素材展」を、令和5年度から名称を「播州織フェア」に改め西脇市で開催した。

出展各社の展示により播州織産地と高品質先染織物ブランド「播州織」をPRし、新規顧客の開拓など販路開拓に努めた。また、1日目は播州織生産工程の工場見学ツアーを実施し、2日目は生地や最終製品の販売等を実施して、産地に顧客を呼び込み播州織産地の活性化を図った。

事業を進めるに当たり、産地業界（産元、染色、織布、加工）、兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター及び地域行政で実行委員会を組織して実行委員会を5回、出展者打合せ会を2回開催し、実施要領、小間レイアウト、展示方法、案内先等について、事業の企画調整と準備を行った。

出展者数は18社及び2団体で、織布事業者6社はそれぞれの企業の特徴を生かした生地を個別スペースで展示を行い、産元協同組合所属の10社は合同展示で、1社当たり30点程度、合計300点の生地をウエイト別に分類して展示を実施した。

また、産地のSDGsに関する取組として染色後の排水処理等をパネルで紹介し、SDGsに取り組んでいる産地であることをアピールした。ブース内に設置したモニターでは、播州織産地の魅力である自然豊かな風景、生産工程等の動画を放映し、播州織が第二次黄金時代を迎えていた1950年代（昭和中期）を中心に当時の産地風景をパネルにして展示した写真展も実施した。

展示会名	播州織フェア2023
開催日	令和5年11月22日（水）・23日（木）
場所	西脇ロイヤルホテル2階
出展者数	18社、2団体

来場者数 約 550人

(県の地場産業等活性化支援事業の助成を受けて実施)

(2) 播州織ブランド普及振興事業 (播州織)

先染織物「播州織」のブランド及び品質の良さをPRするため、播州織ブランド普及振興事業実行委員会(県、地域行政、西脇商工会議所、播州織業界団体で構成)を組織して、事業の推進に当たった。

ア 播州織コレクション事業

「播州織」ブランドと播州織の良さをPRするための事業を実施した。

(7) 新商品・新技術開発事業

産地企業と神戸芸術工科大学デザイン学科が連携し、播州織を使用した製品を8点試作開発した。PR動画を合わせて製作し、撮影については産地の自然や播州織の生産現場を背景に実施することで、播州織とともに産地の魅力を合わせてPRした。

(4) 販路開拓事業

昨年度に引き続き、オンデマンドによるコレクションの配信を行い、「播州織」ブランドをPRした。

名 称 播州織コレクション2024

配 信 日 令和6年2月27日(火)から配信開始

配信場所 北播磨地場産業開発機構ホームページ等

(県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施)

イ ブランド発信PR事業

(7) 北播磨地場産業開発機構ホームページにおいて、「播州織」ブランドの普及のため、ファッションショー等のイベント内容や播州織生産数量データ等の更新を行い、「播州織」ブランドを発信し、PRした。

(4) ポートピアホテル夏休み「じばさん」フェア

地場産業の振興と活性化を図るため、ポートピアホテル夏休み「じばさん」フェアに出展し、播州織ブランドの認知向上を目的とした展示、ワークショップ、播州織生地、製品の販売を実施して播州織のPRを行った。

開 催 日 令和5年8月12日(土)・13日(日)

場 所 神戸市中央区 ポートピアホテル本館2階

(ウ) 「姫路じばさんまつり」

地場産業の振興と活性化を図るため、「姫路じばさんまつり」に出展し、播州織製品の販売、ワークショップを実施して播州織のPRを行った。

開催日 令和5年9月30日(土)・10月1日(日)

場所 姫路市 アクリエひめじ屋内展示場B・C

(エ) 「こどものまち兵庫津」

兵庫県在住・在学の小学生を対象とした仕事体験等を通じて社会のルール等を学ぶイベントに出展し、播州織を使用して缶バッジを作るワークショップを開催した。また、お土産に播州織の生地を配布しPRを行った。

開催日 令和5年11月4日(土)・5日(日)

場所 神戸市兵庫区 県立兵庫津ミュージアムひょうごはじまり館

ウ ひょうごじばさんフェア2023出展事業

地場産業・播州織の振興と活性化を図るため、「国際フロンティア産業メッセ2023」内に設けられた「ひょうごじばさんフェア2023」に出展し、生地、製品等を展示して播州織のPRを行った。

名称 ひょうごじばさんフェア2023

開催日 令和5年9月7日(木)・8日(金)

場所 神戸市中央区 神戸国際展示場1号館2階

来場者数 13,600人

(3) SDGs推進事業(播州織)

SDGsの視点から播州織のブランド価値を高め、地場製品の魅力向上を図るための事業を3か年計画の2年目として取り組んだ。

ア 残糸を利用した生地の試作開発及び播州織製品の試作事業

播州織の製織工程で発生する残糸を利用し、生地8点を試作開発した。また、試作開発した生地を使用し、障害者小規模事業所の協力により、ポーチ、エコバック等の播州織製品を試作した。

イ SDGs動画制作事業

播州織産地のイメージ向上を図り、播州織の普及に努めていくため、令和4年及び令和5年に撮影を行いSDGsの取組を

紹介した動画を製作し、オンデマンドでの配信を通じてPRを実施した。

(県の地場産業SDGs推進事業の助成を受けて実施)

(4) 播州織相談員事業 (播州織)

播州織に関する相談員を設置し、西脇市内の播州織関連企業等の競争力強化及び播州織の振興を図った。

ア 播州織の競争力強化に関すること。

イ 播州織ファッションショーに関すること。

ウ 播州織のPRに関すること。

エ 播州織の振興に関すること。

相談回数 合計64回

(5) 播州釣針地場産業展出展事業 (釣針)

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展し、市場関係者及び消費者の関心を高め需要拡大の機会の創出を図った。

ア にしわき産業フェスタ

開催日 令和5年11月19日(日)

場所 西脇市市民交流施設

来場者数 約8,000人

内容 播州釣針及び釣針製品の展示及び伝統工芸士による播州毛鉤の製作実演

イ KOUGEI EXPO IN OKAYAMA TEWAZA LIVE

開催日 令和5年11月3日(金)～5日(日)

場所 コンベックス岡山

来場者数 約12,000人

内容 播州釣針及び釣針製品の展示、伝統工芸士による播州毛鉤の製作実演及びアクセサリーづくり体験教室、パンフレットの配布

ウ 釣りフェスティバル2024

開催日 令和6年1月19日(金)～21日(日)

場所 パシフィコ横浜展示ホール

来場者数 35,848人

内容 伝統工芸士による播州毛鉤の製作実演

(6) 播州釣針普及事業（釣針）

播州釣針をPRし、消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るための事業を実施した。

ア 稚魚の放流事業（マコガレイ）

開催日 令和5年6月7日（水）

場所 武庫川河口周辺、神戸市立平磯海づり公園周辺、東二見漁港

参加者数 55人

イ 鮎の毛鉤釣り大会

開催日 令和5年7月9日（日）

場所 神奈川県相模原市・相模川

参加者数 40人（栃木県・東京都・神奈川県・静岡県・石川県ほか）

ウ つりつりキャンペーン

昨年に引き続き、例年の「ファミリー海釣り教室」を、各自で現地参加する「つりつりキャンペーン」に変更し実施した。

開催期間 令和5年10月1日（日）～11月30日（木）

場所 神戸市立平磯海づり公園

参加者数 149人

エ 東京インターナショナルギフトショー春2024

開催日 令和6年2月6日（火）～8日（木）

場所 東京都江東区 東京ビックサイト

来場者数 143,850人

内容 播州毛鉤の展示、伝統工芸士による播州毛鉤製作実演映像の配信及びパンフレットの配布

3 地場産業の経営者、技術者等の研修事業（定款第4条第4号）

(1) 人材育成事業（播州織）

播州織ブランドの産地生産体制の維持には産地の内部基盤を強化する必要があることから、事業承継や技術承継のためのセミナー等を実施した。

ア テキスタイル・製品づくりへの企画力・デザイン力の習得セミナー

テ ー マ 2024－2025ハーモニー・オブ・ディスハーモニー不調和の調和
開催日時 令和5年10月5日（木）
講 師 池西 美知子氏（クリエイティブディレクター）
場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター
参加者数 23人

イ 技術承継
開催日時 令和6年2月21日（水）
テ ー マ 研究開発の紹介
講 師 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター藤田浩行所長ほか3人
場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター
そ の 他 保有機器の実演・見学
参加者数 23人
（県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施）

〔収益等事業〕

その他の事業

（他1）地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業（定款第4条第3号）

1 播州織情報収集事業（播州織）

播州織の生産状況や出荷状況などの情報を迅速に把握し、生産の効率化を図るため、提携している一般財団法人メンケン品質検査協会や業界団体等の各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、行政機関や関係先等の産地内外に提供した。

（他2）地場産業振興のための調査事業（定款第4条第5号）

1 戦略推進事業（播州織）

(1) 播州織ビジョン委員会（播州織を守る会）

数年間にわたり運営会議や各種ワーキンググループで検討され、播州織ビジョン委員会として報告された「播州織への提言」の内容、①ブランド管理、②播州織ブランドの外部発信力強化、③播州織ブランド内部基盤強化等について、実施状況を見守る。

(2) 産地間交流事業

地場産業「播州織」振興のための情報収集を目的に、他産地と

の「産地間交流事業」を実施してきたが、今年度は調整がつかず実施を見合わせた。

(他3) 地場産業製品の普及に関する事業 (定款第4条第2号)

1 縫製品PR事業 (播州織)

播州織縫製品の展示及び映像の配信を行い、消費者に向けてPRし、需要拡大の機会を創出した。

(1) PR事業

ア にしわき産業フェスタ

開催日 令和5年11月19日(日)

場所 西脇市市民交流施設

来場者数 約8,000人

内容 播州織の試作生地と播州織を使用した製品を展示し、来場者にPRした。

令和5年度収支決算書

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	112,414	37,119	75,295
普通預金	3,740,373	6,620,945	△ 2,880,572
定期預金	25,000,000	25,000,000	0
未収金	4,845,578	1,025,091	3,820,487
流動資産合計	33,698,365	32,683,155	1,015,210
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	205,000,000	205,000,000	0
基本財産合計	205,000,000	205,000,000	0
(2) 出資金			
出資金	1,200	1,200	0
出資金合計	1,200	1,200	0
固定資産合計	205,001,200	205,001,200	0
資産合計	238,699,565	237,684,355	1,015,210
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	122,571	0	122,571
預り金	1,037,548	1,039,094	△ 1,546
流動負債合計	1,160,119	1,039,094	121,025
負債合計	1,160,119	1,039,094	121,025
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	237,539,446	236,645,261	894,185
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	237,539,446	236,645,261	894,185
負債及び正味財産合計	238,699,565	237,684,355	1,015,210

正味財産増減計算書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,463,681	4,096,261	367,420
基本財産利息収入	4,463,681	4,096,261	367,420
受取補助金等	17,365,087	17,935,000	△ 569,913
ブランド力強化促進事業補助金	3,400,000	2,900,000	500,000
SDGs推進事業補助金	2,955,087	2,515,000	440,087
地場産業等活性化支援補助金	500,000	1,000,000	△ 500,000
事業復活支援金	0	1,000,000	△ 1,000,000
団体補助金	130,000	140,000	△ 10,000
地方公共団体補助金	10,380,000	10,380,000	0
受取負担金	5,120,000	6,870,000	△ 1,750,000
分担金収入	5,120,000	6,870,000	△ 1,750,000
雑収益	16,258	16,205	53
受取利息	16,258	16,205	53
経常収益計	26,965,026	28,917,466	△ 1,952,440
(2) 経常費用			
事業費	17,225,187	17,952,297	△ 727,110
報償費	1,000,000	1,000,000	0
旅費	1,120,980	1,057,220	63,760
会議費	2,420	5,720	△ 3,300
通信運搬費	91,362	87,473	3,889
印刷製本費	141,064	139,161	1,903
消耗品費	119,335	114,448	4,887
賃借料	9,600	121,000	△ 111,400
会場整備費	68,200	0	68,200
広告宣伝費	0	462,000	△ 462,000
外注加工費	264,000	264,000	0
役務費	264,000	264,000	0
原材料費	348,000	328,000	20,000
負担金支出	244,860	255,500	△ 10,640
雑費	0	9,432	△ 9,432
支払手数料	2,860	4,290	△ 1,430
繰入金支出	13,548,506	13,840,053	△ 291,547
管理費	8,845,654	9,910,511	△ 1,064,857
給料手当	5,166,558	6,156,000	△ 989,442
福利厚生費	983,294	1,201,741	△ 218,447
通勤費	120,625	138,000	△ 17,375
会議費	7,870	15,990	△ 8,120

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
旅費交通費	112,480	80,240	32,240
通信運搬費	75,354	86,075	△ 10,721
消耗品費	187,499	173,573	13,926
印刷製本費	22,440	11,000	11,440
賃借料	1,220,198	1,290,952	△ 70,754
共益費	308,237	307,385	852
諸謝金	238,260	181,940	56,320
負担金支出	166,000	166,000	0
支払退職金	16,680	0	16,680
雑費	220,159	101,615	118,544
経常費用計	26,070,841	27,862,808	△ 1,791,967
当期経常増減額	894,185	1,054,658	△ 160,473
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	894,185	1,054,658	△ 160,473
一般正味財産期首残高	236,645,261	235,590,603	1,054,658
一般正味財産期末残高	237,539,446	236,645,261	894,185
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	237,539,446	236,645,261	894,185

財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	112,414	
	普通預金	三井住友銀行西脇支店	運転資金	3,579,898	
	普通預金	商工中金神戸支店	運転資金	47,273	
	普通預金	大和ネクスト銀行	運転資金	41,798	
	普通預金	みのり農業協同組合	運転資金	71,404	
	定期預金	みのり農業協同組合	運転資金	25,000,000	
	未収金	令和5年度兵庫県補助金	運転資金	3,400,000	
	未収金	基本財産運用益	運転資金	1,445,578	
流動資産合計				33,698,365	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	債券	運用益を財団運営に使用	205,000,000
	その他固定資産	出資金	県火災共済(協)	什器備品の火災保険加入	1,200
固定資産合計				205,001,200	
資産合計				238,699,565	
(流動負債)	未払金	加古川年金事務所	2月分社会保険料	122,571	
	預り金			1,037,548	
流動負債合計				1,160,119	
負債合計				1,160,119	
正味財産				237,539,446	

令和5年度事業別決算額説明

(単位：円)

区 分		事業名	科 目	予算額	決算額	備 考
(公1) 北播磨地域の 地場産業の普及 振興事業及び 人材育成事業	新商品・新技術及びデザインの研究開発事業	播州織ブランド新商品試作開発事業	繰入金支出	1,183,000	1,179,478	特別会計へ
			合 計	1,183,000	1,179,478	
	地場産業製品の普及事業	播州織総合素材展事業（播州織フェア）	賃借料	6,000	3,500	会議室使用料
			繰入金支出	5,291,000	5,285,538	特別会計へ
			合 計	5,297,000	5,289,038	
		播州織ブランド普及振興事業	旅 費	87,000	86,240	職員・委員旅費
			消耗品費	8,000	7,370	事務用品費
			繰入金支出	3,658,000	3,656,436	特別会計へ
			合 計	3,753,000	3,750,046	
		SDGs推進事業	繰入金支出	3,235,000	3,233,512	特別会計へ
			合 計	3,235,000	3,233,512	
		播州織相談員事業	報 償 費	1,000,000	1,000,000	相談員報償費
			合 計	1,000,000	1,000,000	
		播州釣針地場産業 展出展事業	旅 費	504,000	503,980	委員旅費
			会場整備費	69,000	68,200	展示設営費
			原材料費	95,000	95,000	放流費
			支払手数料	1,000	220	振込手数料
合 計	669,000		667,400			
播州釣針普及事業	旅 費	531,000	530,760	委員旅費		
	印刷製本費	142,000	141,064	チラシ印刷・折込代		
	原材料費	253,000	253,000	放流費		
	負担金支出	245,000	244,860	入漁料		
	支払手数料	2,000	1,100	振込手数料		
	合 計	1,173,000	1,170,784			
地場産業の経営者、技術者等の研修事業	人材育成事業	会 議 費	3,000	2,420	セミナー打合せ賄費	
		繰入金支出	196,000	193,542	特別会計へ	
		合 計	199,000	195,962		
その他の事業	(他1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業	播州織情報収集事業	通信運搬費	100,000	91,362	電話回線使用料、郵送料
			消耗品費	112,000	111,965	専門紙、資料作成費
			外注費	264,000	264,000	ドメイン・サーバー維持管理費
			役務費	264,000	264,000	調査資料費
			支払手数料	2,000	1,540	振込手数料
			合 計	742,000	732,867	
	(他3) 地場産業製品の普及に関する事業	縫製品PR事業	賃借料	7,000	6,100	出展料
			合 計	7,000	6,100	
合 計				17,258,000	17,225,187	

特別会計説明

1 播州織ブランド新商品試作開発事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	1,179,478	県補助金 600,000 自己資金 579,478
合 計	1,179,478	

支出の部 (単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
研究開発事業費	試織費	1,101,100	試織費
	サンプル作成費	54,510	サンプル・スワッチ作成費
	小 計	1,155,610	
庁費	通信運搬費	1,008	郵送料
	消耗品費	1,800	事務用品費
	印刷製本費	12,650	スワッチ用紙印刷費
	賃借料	5,000	会議室使用料
	支払手数料	3,410	振込手数料
	小 計	23,868	
合 計		1,179,478	

2 播州織総合素材展事業 (播州織フェア)

(県：地場産業等活性化支援事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	5,285,538	県補助金 500,000 自己資金 4,785,538
合 計	5,285,538	

支出の部 (単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
庁費	会議費	3,616	委員会賄費
	賃借料	587,250	会場・会議室使用料
	会場整備費	2,188,560	会場設営費等
	資料作成費	218,472	出展者リスト等作成費
	印刷製本費	301,070	DM、チラシ等印刷費
	通信運搬費	23,620	郵送料等
	広告宣伝費	1,500,400	HP更新・管理費、新聞広告費等
	消耗品費	278,300	ノベルティー、事務用品費
	車両借上料	181,500	マイクロバス借上料
	支払手数料	2,750	振込手数料
	合 計		5,285,538

3 播州織ブランド普及振興事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	3,656,436	県補助金 2,700,000 自己資金 956,436
合 計	3,656,436	

支出の部 (単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
研究開発事業費	製品制作費	440,000	製品制作費
庁費	会議費	587	委員会賄費
	通信運搬費	7,659	郵送料
	消耗品費	2,670	事務用品費
	印刷製本費	66,000	DM等印刷費
	賃借料	3,750	会議室使用料
	会場整備費	3,135,000	撮影・映像制作(企画・モデル・音楽・照明等)
	支払手数料	770	振込手数料
	小 計	3,216,436	
合 計	3,656,436		

4 S D G s 推進事業

(県：地場産業S D G s 推進事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	3,233,512	県補助金 2,955,087 自己資金 278,425
合 計	3,233,512	

支出の部 (単位：円)

事業区分	経費区分	科 目	決算額	備 考	
S D G s 実践	研究開発事業費	製造・改良・加工・検査・実験費	1,024,281	生地試作費 775,500 サンプル作成費 19,756 小物等作成費等 229,025	
		庁費	消耗品費	772	コピー代等
			賃借料	3,750	会議室使用料
	通信運搬費		504	郵送料	
	支払手数料		1,595	振込手数料	
小 計	1,030,902				
S D G s 発信	庁費	通信運搬費	960	郵送料	
		消耗品費	880	着火剤等	
		支払手数料	770	振込手数料	
	委託費	委託費	2,200,000	S D G s 取組動画制作費	
小 計	2,202,610				
合 計	3,233,512				

5 人材育成事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	193,542	県補助金 100,000 自己資金 93,542
合 計	193,542	

支出の部 (単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
謝金	謝金	165,000	講演会講師料
旅費	旅費	4,860	講師旅費
庁費	会議費	4,262	会議賄費
	通信運搬費	1,260	郵送料
	印刷製本費	17,720	資料等印刷費
	支払手数料	440	振込手数料
	小 計	23,682	
合 計		193,542	